

# 静岡県精神保健福祉協会

## News Letter -No.31-

### 巻頭言

静岡県精神保健福祉協会 常務理事

望月 信吾（静岡県精神保健福祉士協会理事）

常務理事就任にあたって



令和4年度より常務理事に就任させていただきました静岡県精神保健福祉士協会の望月と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

静岡県精神保健福祉協会とは一文字しか変わらない協会ですが静岡県精神保健福祉「士」協会は、精神に障害のある方の抱える生活課題等の解決のための援助や社会参加に向けての支援活動、メンタルヘル스에課題を持つ方への相談支援を行うソーシャルワーカーの職能団体です。

いま、社会では8050問題、生活困窮、ごみ屋敷、ネグレクト、虐待…など様々な問題が報じられています。これらの多くはその背景にメンタルヘルスの課題が存在するといわれており、精神科医療の「治療」だけでは解決できないことも多く、「生活支援」もとても重要となっています。最初に見えている課題に介入していくと、さらにその奥にも様々な課題が複雑に絡み合っていることもあります。医療の問題、福祉の課題、そして障害の問題、介護の問題などと割り切って考えることが難しいため、フォーマル、インフォーマルのさまざまな職種や機関がかかわって解決に少しずつ近づいていくこととなります。

令和6年の精神保健福祉法改正では、市町村等が実施する精神保健に関する相談支援について、精神障害者のほか精神保健（メンタルヘルス）に課題を抱える者も対象にするとされています。早期支援、切れ目のない支援が可能な体制ができていくものと思われます。

本協会は、メンタルヘルスやこころの健康づくりの推進と、精神障害の正しい知識の普及啓発を目的とする協会です。精神保健医療福祉にかかわる様々な機関が加盟する団体として、これら諸課題と向き合い、共生社会の実現に向けての一助となれるよう微力ながら尽力してまいりたいと考えております。

最後になりますが、“コロナ禍”という約3年間の制限された生活から少しずつ日常を取り戻し、国の旅行支援などもあり行動範囲も広まってきました。「禍を転じて福となす」ということわざがありますが、コロナ禍という禍（わざわい）で変わったこと、新たに得たものを生かし、これからの地域共生社会をつくりあげていければと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

# 第62回 静岡県精神保健福祉協会 理事会・総会を開催しました



来賓祝辞  
静岡県議会厚生委員会委員長  
伊丹 雅治 様



来賓祝辞  
静岡県健康福祉部長  
八木 敏裕 様



来賓祝辞  
静岡県医師会会長  
紀平 功一 様



〈理事会の様子〉

令和5年6月14日（水）静岡県男女共同参画センターあざれあ大ホールにおいて、第62回静岡県精神保健福祉協会総会を開催いたしました。

来賓として、静岡県議会厚生委員会委員長 伊丹 雅治 様、静岡県健康福祉部長 八木 敏裕 様、静岡県医師会会長 紀平 幸一 様に御臨席を賜り、御挨拶をいただきました。

総会の審議に先立ち、会員団体から推薦された県知事功労別表彰、精神保健福祉協会会長表彰の授賞式が行われ、総会には協会役員、個人会員、各会員機関、団体の代表者の方々など37名の方々が参加されました。

令和4年度の事業報告、令和4年度歳入歳出決算・監査報告。令和5年度事業計画、令和5年度歳入歳出予算、令和5年度役員案の議案が審議され、無事可決されました。

なお148名の会員の内、73名の委任状が事前に議長に提出されました。

午前には、あざれあ第3会議室において、理事会が開催されました。

総会審議に先立ち、令和4年度の事業報告、令和4年度歳入歳出決算・監査報告。

令和5年度事業計画、令和5年度歳入歳出予算、令和5年度役員案が審議され、出席19名、委任状7名の理事によって可決されました。



〈総会の様子〉

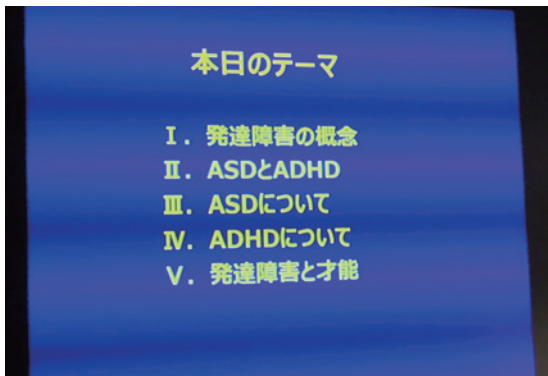
# 記念講演会



## 成人期の発達障害 ～診断と治療の実際～

昭和大学医学部精神医学講座・教授  
昭和大学附属烏山病院・院長

岩波 明 氏



総会終了後、昭和大学医学部精神医学講座の岩波明先生をお招きし『成人期の発達障害～診断と治療の実際～』を演題に総会記念講演会が開催されました。

大変関心が高い内容であり、237名の聴講者がありました。

冒頭で、公的な教育におけるいじめや不登校などの諸問題、社会的ひきこもり、職場の管理化に伴う不適応、精神疾患に対する関心の高まりなどから、発達障害（中でもASDとADHD）が注目されてきていることが共有されました。

ASDやADHDの症例から臨床的な特徴が示され、昭和大学附属烏山病院における【ASDの精神症状と問題行動】の調査結果も示されました。ASDでは、いじめや不登校、引きこもりといった社会的孤立が高頻度に現れ、精神症状は抑うつ、気分変動、情動不安定などの頻度が高く、それらは気分障害の症状と類似しており、自殺関連行動も高率にみられたことが示されました。ADHDでは、うつ症状や不安症状等が併存症状としてあるが一過性であること。衝動性としては、攻撃的な言動、過食、自傷行為、アルコールや薬物依存、ギャンブル依存、インターネット依存などがみられることが多いこと。うつ・不安症状や衝動性の改善には、ADHDに対する治療が必要で、薬物療法も有効とのことでした。

ADHDの治療指針として、自身の行動特性を理解し肯定的に受け入れ、行動特性の是正に立ち向かう気持ちを持たせることが重要であり、昭和大学附属烏山病院の取り組みとして、認知行動療法と心理教育を行う治療グループがあるということでした。

「ADD/ADHDという才能.トム・ハートマン2003年」の紹介から、症状は【特長】でもあることが示されました。

ADHD患者は、高頻度でマインドワンダリング（現在行っている課題や外的な環境の出来事から注意がそれて、自発的な思考を行う現象）を認めること、音楽家や画家などの芸術家や起業家はその特性を持つ人物が多いこと、著名人の例として、葛飾北斎が紹介されました。

発達障害についての大変貴重な講演を聴講することができました。



## 参加者の方々の感想から

- ASDとADHDの特性について、改めて整理、理解ができた。
- ASDとADHDは識別が難しいことがわかったが、どちらも特性を理解し本人が対処方法を知ることが大切だと分かった。
- 子どもの頃は、周囲の温かい目があっても、大人になると企業、社会が受け入れることが難しくなってしまうと感じる。職場、家族、友人の理解が大切。
- 病状ととらえるか、特長ととらえるか、周りの接し方、理解の仕方によって、その方の居心地に大きな差が生まれることを再認識した。周囲の理解が重要。
- 発達障がいに関して、わかりにくいことや誤解があるので、理解し、寄り添って社会の一員として生活できるようにサポートしたい。
- 問題行動と思われることがあっても、周囲の理解により、特性を生かして生きられる環境づくりを望む。
- 現状では、発達障害を診断できる病院、医師が少ないように思う。
- 認知行動療法が行われている機関を知りたい。治療の紹介がもっとあるとよかった。

※アンケート回収率 約60%

※講演に満足、ほぼ満足の回答が95%でした。



# 令和5年度受賞者紹介

令和5年度の静岡県知事功労別表彰が静岡県健康福祉部の八木敏裕部長より、また静岡県精神保健福祉協会会長表彰が静岡県精神保健福祉協会の山末英典会長より授与されました。

## 令和5年度知事功労別表彰（保健衛生功労）受賞者（2名）



渡辺 勝司 様

お名前	ご所属
渡辺 勝司 様	公益社団法人 静岡県断酒会
澤野 文彦 様	一般社団法人 静岡県精神保健福祉士協会



澤野 文彦 様

## 令和5年度静岡県精神保健福祉協会長表彰 受賞者一覧

### 永年勤続功勞表彰 (7名)

お名前	ご所属	お名前	ご所属
天野 武彦 様	一般財団法人 富士心身リハビリテーション 研究所附属病院	山田 美穂 様	医療法人財団新六会 大富士病院
稲葉まり子 様	医療法人財団新六会 大富士病院	明石 幸子 様	医療法人社団澤記念会 神経科浜松病院
山本 和枝 様	公益財団法人復康会 沼津中央病院	山口 貴弘 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院
川村 明広 様	公益財団法人復康会 鷹岡病院		



特別功勞表彰



永年勤続功勞表彰



### 《 受賞者の皆様 》

### 特別功勞表彰 (個人) (7名)

お名前	ご所属 (推薦元)	お名前	ご所属 (推薦元)
清 和幸 様	公益社団法人 静岡県断酒会	前林 勝弥 様	一般社団法人静岡県 精神保健福祉士協会
杉山 直也 様	公益財団法人 復康会	窪田 幸久 様	静岡県精神神経科 診療所協会
内山 康一 様	公益社団法人静岡県 精神保健福祉会連合会	出木 充 様	公益社団法人静岡県 精神保健福祉会連合会
吉村 千穂 様	公益社団法人静岡県 精神保健福祉会連合会		

# こころの健康づくり講演会のご案内

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及及び啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上に資するため、適当と認められた団体に対しこころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。

今年度開催された講演会と、9月以降開催予定の講演会を御紹介します。

## すでに開催された こころの健康づくり講演会を御紹介



### ★「成年後見人制度について」

開催日：令和5年7月13日（木）

会場：湖西市民活動センター

講師：行政書士・成年後見人・民生児童委員 杉浦 登 氏

主催者：NPO法人さざなみ会

- 〈内容〉・成年後見制度とは  
 ・親なき後の問題に成年後見制度をどう利用するか  
 ・後見事務事例

〈感想〉成年後見制度はどのような制度で、どのように利用できるのか事例を交えた講演で、分かりやすかった。

## 9月以降 開催予定の講演会

☆講演会への参加希望者は、  
 直接主催団体へお問い合わせください。

開催日	会場	テーマ・講師	主催団体
令和5年 9月10日（日） 9：00～10：40	菊川市総合保健福祉センター プラザけやき	「質の良い睡眠とは」 中東遠総合医療センター 診療部長 新島 邦行 氏	菊川市健康づくり課 TEL 0537-37-1112
令和5年 11月30日（木） 13：30～15：30	菰山 福祉・保健センター	「地域でこころの健康づくりを進める講演会」 エムオーエー奥熱海クリニック院長 佐久間哲也 氏	伊豆の国市精神保健福祉会 かの川会 TEL 055-949-5818
令和6年 2月1日（木） 10：00～11：30	三島市立 保健センター	「ストレスへの理解とマインドフルネス」 臨床心理士・公認心理士 鈴木 文月 氏	三島市保健委員会 TEL 055-973-3700

### 心の健康フェア2023講演会

11月29日（水）13：30～15：00

会場：静岡県男女共同参画センター

あざれあ大ホール

入場無料（どなたでも 事前申込制）

### 「サッカーボールがつなく社会」

～ソーシャルフットボールを通じて共生社会の実現を～

講師：（一社）日本障がい者サッカー連盟会長

きたざわ つよし  
**北澤 豪 氏**

聴講御希望の方は11月22日（水）までにメール、FAX、  
 電話いずれかにて静岡県精神保健福祉協会まで

### 静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031

静岡市駿河区有明町2-20 県総合庁舎別館4階

TEL&FAX 054-202-1220

E-mail：sizuoka\_seisin@yahoo.co.jp

（事務局出勤日 月・水・金 9時～16時）

ホームページはこちらから⇒



【当協会の活動に御賛同いただいている会員企業様】

（敬称略・順不同）

静岡銀行・浜松いわた信用金庫  
 （有）サカエ印刷・（株）日本軽金属蒲原製造所